

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 29年 11月 15日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

氏名 15名/15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ・関わりはじめは、余裕のある送迎時間を持つことで、家族も含めたご利用者とのコミュニケーションの場を作り信頼関係の構築を行っていく。
- ・会話の中でも、思いを感じ取れるようにし、それを他スタッフに伝えみんなで共有する。
- ・基本情報を把握し初回利用連絡表を関わったスタッフは、詳細に記録し情報共有する。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
①	前回の課題について取り組みましたか？		9	3	1	13

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	8	3	1	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	10	3	1	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	12	1	1	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		12	3		15

できている点

- ・利用開始前のご本人、ご家族からの思いや希望を聞き取り記録に残し、回覧、情報共有できるようにし、疑問に思った事は確認を取っている。
- ・初回利用連絡表を使用し、全スタッフにも把握しやすい様記録し、情報共有できるようにしている。慣れていない時期には、不安感や表情にも注意しご本人が無理にないよう関係作りから始めている。
- ・初回月の月末会議でかわり方や支援について振り返りを行い次の支援に繋げている。

できていない点

- ・関わり初めでのご家族やご本人との関わりを、業務上余裕がなく、ご本人の必要としている支援、ご家族の思いを聞き出せていない部分がある事と、ご家族主体の支援になっている方も居る。
- ・気づいたことをすぐに共有することが出来なかった。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

- ・回覧できているか合議印や確認とってないから。連絡ノートに書き記しているのを見てないはずはないだろうと思うから。
- ・ご家族の方とコミュニケーションを図る際、不安である部分や困っている部分を引き出す会話をしないと改善できないと思う (家族との話の中でニーズを引き出すまでに至っていない)
- ・ご利用者の送迎に余裕がなく、思うようにコミュニケーションの場が作れていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 限られた時間の中でも、送迎時のご家族の雰囲気や何げない会話から汲み取り、日ごろから自分で聞く意識を持つ事で、ご本人に関する情報を得、基本情報や初回連絡表等、記録した書類は回覧し合議印をし、情報共有する。また、会議で関わり方や支援について振りかえりを行い、次の支援に繋げていく。 	

スタッフ個別評価・様式	実施日	平成 29 年 11 月 15 日
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	氏名	15名/15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> サービス計画書の支援計画を把握し、それを元に意識して関わり、日々のかかわりの中で気づいたことは、支援経過に記載する。 ミーティングで計画をたて実施し、その結果を振り返り記載し、次回へ活かす。 支援計画の（～したい）という当面の目標を朝礼で伝えていくことによって、職員が同じ目標に向かって支援できるようになり、実現しやすくなる。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
① 前回の課題について取り組みましたか？		12	2		14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	7	6	1	15
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	9	4	1	15
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		9	5	1	15
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	9	4	1	15

できている点
<ul style="list-style-type: none"> サービス計画書を基にチームごとの月2回のミーティングで支援出来る事、～したい等を日々の会話の中で見つけるようにし、話し合い実現している。結果、ご利用者、ご家族に喜んで頂けた。また振り返ったうえで次の支援に繋げていくようにしている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> 当面の目標を朝礼で伝えていくというよりもノートなどを活用している事が多い。 ご本人の目標、ゴールがしっかり理解できていないし、担当チーム以外のご利用者のニーズや目標を把握しきれていない。 計画に対して出来なかった事や、ご本人の状況の変化で達成出来なかった事があった。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・ご本人の「～したい」なのか、ご家族の「～したら」「～したい」なのか区別できないまま支援している事があり、ミーティングでは、出来ないところで止まっており違う案やどうしたら出来るのかという対策に及ばない（振り返り、次の対応に活かせてない）。日々の関わりは特別な事がない限り、業務に追われ記載する時間が設けれていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・各チーム担当ご利用者について、気づきノートや連絡ノートを活用し発信していく。ミーティングにて計画し、実施・振り返りを記載の呼びかけを行う。

スタッフ個別評価・様式

実施日

平成 29年 11月 15日

3. 日常生活の支援

氏名

15名/15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ・ご本人らしさとは何か理解し支援していくためにも、日々の会話の中で知りえた以前の暮らし、思い等を各ご利用者毎の『暮らしまとめシート』に記入していく。書き出しやすく見やすいように、一括にファイリングする。月2回行うミーティングで、支援に繋げる。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
①	前回の課題について取り組みましたか？		3	6	6	15

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		1	10	4	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5	9		1	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	7	6	1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	11	1	1	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	10	2	1	15

できている点

- ・ 体調の変化だけでなく日々の生活の中で気づいた点は共有出来ており解決に向け話し合いも少しではあるが出来ている。表情や言葉の中から変化を察し次の訪問の方に伝え「聞いてない」ってことにならないよう、フォローが出来るように努めている。細心の注意を払っている。
- ・ 会話の中で個々の思いを聞き取りながら以前の暮らしを把握するようにしている。

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の会話の中で昔の事を話題に話すことが少なく、現在の生活の中での話が多いため見つけることが少なく、シートに記入するという意識自体がほとんど考えていなかった。 ・ご本人の声にならない声や思いを言語化する事。 ・「暮らしまとめシート」が活用する事が出来なかった。
---------	---

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の状況に合わせた基礎的な介護、気持ちや体調の変化に即時的に支援出来ているが「暮らしまとめシート」に記入の仕方がわからない部分もあり出来ていない。ご利用者の個人情報をしっかり読んで理解出来ていない部分がある。 ・関わり方の長いご利用者も増え以前の暮らしより今の状況の変化に目がいってしまい「以前の暮らし方」が置き去りになってしまったり、記録が多くそこまで（暮らしまとめシート）の記入まで至ってない。
---------------------------	---

次回までの具体的な改善計画（200字以内）	<ul style="list-style-type: none"> ・各チーム1月ごとに重点的に1人担当者を決め、情報収集し連絡ノートに記入、共有していく。各チーム、今月は〇〇様と発信し、自己実現の支援をチーム同士協力し実施する。
-----------------------	---

	実施日	平成 29年 11月 15日
--	-----	----------------

4. 地域での暮らしの支援	氏名	15名/15名
---------------	----	---------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・H28 年度改善計画のエコマップ作り（社会資源の発掘・友人、行きつけの店、関わりのある近所の人等）が達成できていない。より実現しやすく前頁と同様、聞き取りや知りえた情報をすぐ記入しやすくするため、『暮らしまとめシート』と共に各ご利用者の『エコマップ』をファイリングする。ご本人を取り巻く暮らしを把握することで、関係性の継続に努めていく。
---------	---

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
①	前回の課題について取り組みましたか？		3	7	5	15

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		7	7	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		7	7	1	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		10	4	1	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		4	7	3	14

できている点

- ・出来る限りサービスに依存しない、偏らないよう、ご家族や周囲、知人の方に任せている所（いざというときはフォローに入れるようにしている）
- ・独居の方は訪問支援でかわりを持つことが多く、ご近所の方や知人の方と接する場面が多くあり会話の中で情報を知れた。
- ・地域との関わりをもって生活したい方に、公民館行事やオレンジカフェに出かける支援を始めた。

できていない点

- ・口頭で把握することが多く暮らしまとめシートやエコマップなどに目を通す事が少なく作成できなかった。
- ・民生委員や地域資源が把握できていない。（ご本人の暮らしに必要な）
- ・ご家族と同居の方の過ごし方の把握。関係性の把握。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・ご家族と同居してる場合は、ご家族が地域との関りを望んでおられるのかどうか、踏み込みづらいご利用者も居る。
- ・せっかく聞いた情報があってもエコマップ作りに反映されていない（使用しながら情報を集める意識が低かった）
- ・今までは社会資源の発掘を難しく考えていた。（ご本人、ご家族に聞くしかないと考えていた）
- ・現在の状態の把握ばかり目が行きがちでこれまでの生活スタイルなどに目がいけていない。

次回までの具体的な改善計画

（200字以内）

- ・行事などを活用し、ご本人・ご家族からアンケートを実施、情報を集め、地域の一員として住み続けられるよう、関わりを繋げていく。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 29 年 11 月 15 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

氏名 15 名/15 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ・地域資源の把握として、ご利用者を中学校校区に分け写真を活用。鳥取市の地図を拡大コピーし、ご利用者と撮ったかかわりのある地域資源の写真を貼り分かりやすくする。(写真を撮らせてもらう為にも、関係性を再構築したり、キーマンになり得る資源の発掘も必要)

ご利用者と共に作成することで、コミュニケーションの場や活動性も高めていく事も出来る。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
①	前回の課題について取り組みましたか？		5	6	4	15

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		8	5	2	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	8	2	1	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	4	10		1	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	10		1	15

できている点

- ・地域と関わるためにボランティアや行事に参加したり挨拶を行うように心がけている。
- ・変化を見つけるようにして変わった事があれば支援経過や気づきノートに記入している(ミーティング等での共有)、ご本人の状況、状態に合わせて柔軟な支援が出来ている。
- ・少しづつだが、ご本人と出かけ、一緒に写真に映ってもらう地域の人がいることが知れた。

できていない点

- ・地域資源に関わりがあると感じてても、写真に撮り活用に繋がれていなかった。
- ・ご利用者によって地域との関わりが少ない方も居るので、全員のご利用者の地域での支援が出来ていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

- ・情報不足、どうしたら情報を集められるのか、スタッフ各々で、ご家族と外出支援のために話をしていたり、そういった機会を持っていないし、自分自身に余裕がなく聞き取りの時間を取れていない。
- ・長期連泊や軽度者でそこまでサービスが必要のない方でも結局はご家族のニーズになって提供してしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・毎月第〇何曜日と決め、地域資源を発掘・写真に撮る・情報共有の為に聞きしたことを記入する日を決め実行に繋げる。(エコマップ作り)

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 29年 11月 15日

6. 連携・協働

氏名 15名/15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
・教室を開催する為のチラシを配布し（勉強会・手話教室・作品づくり教室等）、事業所を知ってもらうきっかけを作る。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
① 前回の課題について取り組みましたか？			1	13	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	2	10	15
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			2	11	13
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	6	3	3	15
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		5	4	6	15

できている点
・町内会活動でいきいきサロンの参加や行事に参加し、交流や事業所を知ってもらうよう努めた結果、わくわく西中の中学生ボランティアの参加にも繋がったし、地域の方が事業所のイベントに来てくれることもあった。
・川端カフェに出店しスタッフ・ご利用者と作成した作品とコラボコーヒーの販売。事業所のチラシも配布した。他イベントの参加。
・子供の自由研究で昔の遊びをご利用者に教えてもらったりと交流の場が持てた。
・多職種連携をとりミーティングしている（改めて会議ではなく必要時連絡を取り合い適切に対応をとっている）

できていない点
・包括や自治体の会議に出れていない。
・（事業所を知ってもらう）勉強会、手話教室等を開催出来ていない。
・このような活動をしていることを知らなかった。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
・出席する余裕がない、時間がとれていない。
・漠然とした思いしかなく、教室開催の計画をたてていなかったし、担当を決めていなかった。
・介護職がどこまで関わっていいかわからない部分もある。（意見は言えている）

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・餅つきや敬老会などの行事にチラシを地域に配布し、参加の呼びかけをすることで、ご近所の方が足を運びやすいようにする。（教室開催よりもまずは声をかけやすいことから始める）

7. 運営

氏名

15名/15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ・運営推進会議を職員に回覧できていなかったので、回覧し内容を理解する。
- ・会議に職員が参加し、地域との意見交換を積極的に行えることで、事業所の質を向上出来るヒントを得て運営に関わっていく。
(地域の行事参加や配食サービスの手伝い、掃除等、今後も継続していく。)

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計人数
①	前回の課題について取り組みましたか？		6	3	5	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計人数
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	4	7	3	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	9	2	3	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	6	4	3	15
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1	6	5	3	15

できている点

- ・苦情や意見を聞いた場合は、早い段階で報告、対応に繋がるように心がけている。
- ・配食サービスや地域の行事の参加が出来ている。また、事業所の行事にも参加していただいた。
- ・運営推進会議の内容を回覧して理解するよう心掛けている。
- ・民生委員の方と道で会って話が出来るようになった。

できていない点

- ・運営推進会議の回覧が出来ていない（内容もいまいち理解出来ない）
- ・地域との連携を図り事業所の良いところを向上出来ていない。地域の拠点となるべき活動、取り組み。
- ・会議に参加し地域との意見交換など出来ていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・こちらから地域の方に積極的に話す機会が少なく、あいさつ程度で終わってしまっている。
- ・勤務上の余裕がなく、運営推進会議に参加する機会がなかった。
- ・地域と協働した取り組みがどういったものかどうできるのか理解出来ておらず、意見も聞けない。
- ・拠点となるべき活動、取り組みを具体的に何をするか決めていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・運営推進会議にスタッフも参加できるよう、勤務表に反映し地域からの意見を知る。スタッフで情報共有し、地域行事に参加の際は、意識して話が出来るようにする。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 29年 11月 15日

8. 質を向上するための取組み

氏名 15名/15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- 日々の気づきノートにハッとしたことや気づいたことをしっかりと記入し、集計し振り返りの場を月ごとの会議にて持つ。リスクマネジメントとして、大きな事故につながらない様、検証していく。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	10		1	12

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	9	3	1	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	5	5	15
③	地域連絡会に参加していますか	1		1	13	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	4	1	15

できている点

- 事故につながる以前の発見、気づきノートの活用、共有。
- 研修への参加（資格やスキルアップ）
- 毎月の会議でのミーティングや研修で振り返りや共有を皆でしている。

できていない点

- 気づいた事は、口頭で伝え記入まで至ってなかったり、気づきノートを記入しても、集計し振り返りが出来ていない。
- 地域連絡会や他研修の参加、資格取得・スキルアップのための研修に参加。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- 口頭で伝え、ノートに記入まで至ってないし、気づきの振り返りをする時間を取っていない。
- 研修の情報がない。見落とししている。
- リスクマネジメントがどのようなタイミングで検証すればいいかわからなかった。
- 地域の方に一人のスタッフとして認知が出来て居らず、知識なども不足しているので自ら参加出来てない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- (事故ゼロベース作業) 気づきノートに記入してあることに対して、実際にしてみてどうだったか等、スタッフが記入していき、集計・会議にて振り返りを行う。
- 外部研修への積極的な参加。興味ある研修への自発的参加（研修情報は必ず回覧できるよう工夫する）

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 29年 11月 15日

9. 人権・プライバシー

氏名 15名/15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・拘束やプライバシーの侵害について日々の支援に疑問を持ったことは、気づきノートに記入しミーティングにて話し合い、うやむやにしない。 ・自分のたてる音、行動に今一度振り返り丁寧に行うことで、人権の尊重にもつながることを理解していく。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
① 前回の課題について取り組みましたか？		13		1	14

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計人数
① 身体拘束をしていない	10	5			15
② 虐待は行われていない	13	2			15
③ プライバシーが守られている	3	11	2		15
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	8	5	1	1	15
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	4	8	3		15

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・拘束や虐待していない（勉強し共有をスタッフ間でしている、ベット柵等） ・自分の行動を振り返り、立てる音（ドアの開閉音、大きな声で話す）丁寧な言葉使い、対応を考えるようにしている。ご利用者が不穏になってしまった時等、自分の行動や対応はどうだったか振り返っている。気づきノートに記入し共有するようにしている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ使用時の立ち入りの際の開閉に関し、配慮が足りなかった。（ノックのし忘れ） ・ご利用者の前で他のご利用者の話をしてしまっている事があり個人情報、管理に配慮が欠けた。 ・自分の立てる音、行動の振り返り、言葉遣いや丁寧さ。 ・気づきノートを見て、他スタッフの感じた事、実際にしてみた感想や記入や振り返りが出来ていない。 ・服がめくれていたり、他利用者へどう見えてるか、ご本人がどう感じているか、意思が発せない方への配慮。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
<ul style="list-style-type: none"> ・利用しているかどうか確かめずに鍵のかからないトイレに関し開ける事があった（確認不足、使用中かも、という意識の低下） ・親しみを込めてよい場合とそうでない場合の言葉遣いの使い分け。 ・業務優先の行動になっている事があり、ドアの開閉の音が大きくなったり業務内容を大きな声で話している事がある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・トイレ時「使用中」の札を作り、わかりやすくする。スタッフにとっては業務であるが、ご利用者にとっては生活の場であるので、そのことを第一に考え配慮の気持ちを持つ。気になる事は職員同士、注意し合う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 地域でくらす会	代表者	井上 徹	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉法人としての取り組みとしては、介護をしているご家族に対しての支援を行う為「やすらぎ支援員」としての養成講座や、介護予防サロン等の認知症予防対策と地域や市民への認知症啓発活動に力を入れている。事業所としては、様々な行事を開催し地域住民へ呼びかけを行い、地域の行事に参加するなどし、地域と協働出来るように努めている。また、介護を提供するだけでなく『その人らしくどう生きたいかに立ち返り、関係性こそその人らしさ、ひとりの支援が地域を変える』をモットーに、ご家族や地域・医療など、ご本人を取り巻く様々な関わりが一体となるよう働きかけている。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 木守舎	管理者	山崎 さおり		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	1人	人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 「気づきノート」にハッとしたことや気づいたことをしっかりと記入し、同じ事が起こっていないか検証し、職員全体の情報共有・意識の共有とレベル向上を目指し、改善を図っていく。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・事故に繋がる以前の発見や「気づきノート」の活用・共有が出来た。 2・口頭で伝えてはいたが、記録が不十分だった。 3・職員ごとに認識の違いや、聞き取り不足。 4・「気づきノート」を見て、他スタッフの感じた事、実際にしてみた感想や記入の振り返りが出来ていない。 5・職員に計画が周知出来ていなかった。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・計画に対しての取り組みが職員ごとに異なっている。抽象的なので全職員にわかりやすいよう、出来ていないところを明確にしたほうが次に繋げやすいのでは？ 2・目標が高い？箇条書きで記載し、点検方法も定めた方が良いのでは？ 3・「気づきノート」に記入しても集計や振り返りが出来ていなかった。 	<ol style="list-style-type: none"> 1-a・気づいた事・ヒヤリとした事・事故に対して、早急に話し合い対応策をたてる。 1-b・月ごとの会議で改善出来ているか振り返りを実施する。 2・興味ある研修への積極的な参加（研修情報は必ず回覧出来るようにする） 3・全職員が計画を把握し実行できるよう、節目ごとに計画について周知する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 看板は掃除し見やすいようにする。 教室を開催する為のチラシを配布し（勉強会、手話教室、作品作り等）事業所を知ってもらうきっかけを作る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・看板は修繕し見やすくした。 2・地域の活動に参加する事で事業所を知ってもらい、学生ボランティアの参加に繋がった。 3・教室開催は、漠然としていて計画までに至らなかった。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・行事のチラシを貰えたら、相談に来る地域の方に配布し、足を運んでもらうように働きかけてみる。（中央包括より） 2・教室開催よりもまずは、足を運びやすい事から始めた方がいい。 3・職員が挨拶出来ているか分からない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・餅つきや敬老会などの行事案内を地域に配布し、事業所に来ていただく働きかけを行う。 2・新人研修で、基本的な接遇について学ぶとともに、職員同士誰でも注意出来る環境にする。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事の参加、啓発活動の継続をし、出向く事で、地域の困りごとにも係っていく機会を作る。 ・子供との交流が図れるよう、小学校向けに作品づくりを行い、ご利用者と共に小学校に持参する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・地域との連携を図り事業所の良いところを向上出来ていない。 2・地域との取り組みがどういったものかどう出来るのか理解出来ておらず、意見も聞けなかった。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・関わりに相当努力されているので、無理のない範囲で今後も関わっていただきたい。 2・高齢者支援の拠点となる場所であって欲しい。 3・地域の高齢化は進んでおり取り組みを進めて頂きたい。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・地域行事や資源回収に参加し、地域を知る機会を持つ。 2・町内の会議に出席する事で、地域課題を知り、取り組みに関わっていく。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友人・行きつけの店・関わりのある近所の人等、ご利用者の周囲を取り巻く地域資源『エコマップ』作りを、より実行しやすくする為、聞き取りや知りえた情報をすぐ記入していけるよう、一冊に分類・整理する。 ・ご利用者とかがわりのある人・物等の発掘をし、ご利用者と写真を撮って中学校校区に分類し、一面に貼って把握していく事で、関係性の構築を図り支援のヒントを探っていく。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・せっかく聞けた情報であってもエコマップ作りに反映されていない（使用しながら情報を集める意識が低かった） 2・社会資源の発掘を難しく考えていたので出来ていない。 3・現在の情報に目が行きがちでこれまでの生活歴に目が行ってなかった。 4・少しずつ地域に出かけ、一緒に写真に写ってもらえる関わりがあるのだと知った。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・ご本人の旧友宅に伺うのはどうか？ 2・記録が多く記入にまで至らない。 3・どうしたら情報を集められるかわからないし、聞き取りや関わる機会を持つことに余裕がない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・行事などを活用し、ご本人・ご家族から今昔に関わりのある人・物等のアンケートを実施し情報収集する。 2-a・月ごとに一人ひとりずつ、ご利用者の担当を決め、情報収集した内容を踏まえ、旧友に会う機会やなじみの場所に出かける。 2-b・何月第〇何曜日と決め、地域資源を発掘・写真に撮る。 2-c・各チームで毎月2回の話し合い時、情報共有する。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を職員に回覧できていなかったなので、回覧し内容を理解する。 ・会議に職員が参加し、地域との意見交換を積極的に行えることで、事業所の質を向上出来るヒントを得て運営に関わっていく。 ・事例検討を必要に応じて発表する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・地域との連携を図り事業所の良いところを向上出来ていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・地域の心配な方の話し合いなど地域側も今後の課題として、充実した会議を模索中。 	<ol style="list-style-type: none"> 1-a・運営推進会議に職員も参加できるように、勤務表に反映し地域からの意見を知る。 1-b・地域行事に参加の際は、意識して話が出来るようにする。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画は年度初めに運営推進会議で回覧する。 ・備蓄、備品がどれくらいあるか表にして視覚化し公表する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・今年度はじめ、非常災害対策計画を策定し、計画にのっとり災害対策訓練を行えた。 2・備蓄・備品の視覚化は出来たが公表に至っていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・防災計画は見たか覚えていない。 2・災害時の連携強化を図りたい。 	<ol style="list-style-type: none"> 1・防災計画は年度初めに運営推進会議内で配布する。 2・備蓄・備品の公表を年2回の訓練時に公表する。
----------------------------	---	--	---	---